消防年報

令和4年中



士別地方消防事務組合

はしがき

本書は、士別地方消防事務組合の消防現勢並びに令和4年中の消防諸般の状況を収録し、広く紹介すると共に今後の消防対策の参考に資することを目的として編集致しました。

本書を消防行政の将来を展望するなど、消防力の質の向上とその整備、充実強化を効果的に行うための指針としていただければ幸いです。

なお、本書は列記してあるものを除き2022年（令和4年）12月31日現在の資料を収録致しました。

令和5年8月

士別地方消防事務組合消防本部

北海道士別市東6条4丁目1番地
電　話　(0165)23-4709
FAX　(0165)23-1719

目　　次

〔組合の沿革〕
沿革　1～10

〔消防の現況〕
消防職員・団員定数の推移　11
組合管轄区域図　12
組合組織図　13
組合消防情勢（人口・世帯数・組合勢力と消防現有勢力の比較）　14
消防職員の配置・年齢別・勤続年数別　15
消防団員の配置・年齢別・勤続年数別　16～19
消防庁舎の現況　20～21
消防予算　22

〔消防施設〕
管内無線通信施設概要　23
署・支署の車両勢力・車両配置　24～25
消防団の車両勢力・車両配置　26～27
消防資器材保有状況その1　28
消防資器材保有状況その2　29
地区別水利施設状況　30
高機能消防指令センター装置概要・119番受付回線概要・AVMシステム設置車両概要　31
専用電話等受付状況(市町別)　32
覚知別受付状況　33

〔救急・救助統計〕
救急活動総括表・救急隊別事故種別活動状況　34
曜日月別出動件数・曜日月別搬送人員　35
救急活動の推移・地区別発生状況　36
地区別救助出動件数・月別救助出動件数・活動人員状況　37

〔火災統計〕
火災概況　38
月別火災発生状況・月別火災損害状況　39
原因別火災状況　40

〔予防統計〕
危険物製造所等設置状況・倍数別設置状況　41
建築同意及び通知防火対象物数　42
指定防火対象物数　43
諸届出及び証明等処理件数　44
防火団体状況　45

組合の沿革

士別地方消防事務組合の沿革

＝昭和47年＝

	4月1日	士別市、和寒町、剣淵町、朝日町の1市3町により士別地方消防事務組合を発足。
		管理者 木村伊三郎（士別市長）、副管理者 国井英吉（士別市助役）、収入役 廣田正憲（士別市収入役）、消防長 平井勝太郎、消防署長 鶴岡鶴治、和寒支署長 上野亮、剣淵支署長 後藤久一、朝日支署長 津村秀臣。
士別市	4月	普通消防ポンプ自動車を購入し士別消防団第2分団に配置。
	12月	上士別消防庁舎を16線南2番地に新築。
和寒町	7月	事務組合設立に伴い職員2名を採用し定数6名とする。
	〃	第1回北海道消防操法訓練大会上川地区大会に出場し準優勝する。
	10月	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型2,500ℓ）を購入し和寒消防団に配置。
剣淵町	9月	剣淵消防団長に佐藤正吉就任。
	10月	消防車庫増築並びに望楼を鉄骨製に改築。
	〃	加藤孝三郎氏から広報車（41年式日産セドリックバン）が寄贈される。
	11月	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型2,500ℓ）を購入し剣淵支署に配置。

＝昭和48年＝

士別市	7月	士別消防団創立70周年記念式典を挙行。
	8月	士別消防団長に谷正一就任。
	11月	消防ポンプ自動車（A-2級）を更新し上士別消防団第1分団に配置。
和寒町	4月	和寒支署、宿直体制とする。
	10月	超短波無線電話装置（出力10w基地局1基、移動局2基、携帯1基）を設置。
剣淵町	3月	超短波無線電話装置（出力10w基地局1基、移動局3基）を設置。
朝日町	12月	支署長に松葉昭参（町総務課長併任）就任。
	〃	林野火災工作車を購入し朝日支署に配置。
	〃	超短波無線電話装置（出力10w基地局1基、移動局2基）を設置。
	〃	朝日支署、朝日消防団庁舎（延べ442.26㎡、鉄筋コンクリート1部2階建）を新築。

＝昭和49年＝

士別市	4月	上士別消防団長に辻本正長就任。
剣淵町	7月	支署長に原正雄（町総務課長併任）就任。
朝日町	〃	前天塩岳山頂で林野火災が発生。
		延べ561人の出動による防火線（1,800m）の開設及び自衛隊ヘリコプターの消火剤散布により鎮火。（延焼期間3日、焼失面積10ha）
	9月	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型2,500ℓ）を購入し朝日支署に配置。
	10月	朝日消防団、北海道知事から竿頭綬を受賞。

＝昭和50年＝

士別市	8月	温根別消防団創立50周年記念式典を挙行。
	9月	小型動力ポンプ付積載消防自動車（B-2級）を購入し上士別消防団第1分団第3部に配置。
和寒町	12月	台風6号水害救助活動功労により北海道知事から表彰状を受賞。
朝日町	1月	社団法人日本自動車工業会から救急自動車（2B型）が寄贈され、朝日支所に配置。
	3月	移動局無線電話1基を設置。
	4月	救急業務を開始。

＝昭和51年＝

士別市	2月	士別ロータリークラブよりトヨタ救急車（2B型）の寄贈を受け消防署に配置。
	4月	署長に松本正義就任。
	5月	多寄消防団長溝田卯市、赤坂御苑園遊会に招待され参列。

士別市	8月	小型動力ポンプ付積載消防車(B-2級、中古車)を購入し温根別消防団第3部に配置。
	9月	士別ライオンズクラブから救急自動車(2B型)が寄贈され消防署に配置。
	〃	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型1,600ℓ)が寄贈され消防署に配置。
剣淵町	6月	ライフゼム空気呼吸器を購入し剣淵支署に配置。

＝昭和52年＝

士別市	8月	多寄消防団創立50周年記念式典を挙行。
	〃	小型動力ポンプ付積載消防自動車(B-2級)を購入し上士別消防団第2分団第3部に配置。
	〃	小型動力ポンプ付積載消防車(B-2級)を更新し温根別消防団第3部に配置。
	11月	温根別分遣所職員住宅増築工事が完成。
和寒町	1月	消防団長に樋口亮就任。
剣淵町	6月	消防団員佐々木啓二(二階級特進、部長)が火災現場において殉職。
	8月	広報車(47年式トヨタクラウンバン)を更新し剣淵支署に配置。
朝日町	12月	支署長に庄司忠(町総務課長併任)が就任。

＝昭和53年＝

士別市	12月	消防庁舎増改築工事が完成。(延べ306.88㎡)
和寒町	6月	消防団長に石上重美就任。
	8月	和寒支署庁舎を新築。
	9月	水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型3,000ℓ)を購入し和寒支署に配置。
朝日町	3月	朝日消防団、日本消防協会から表彰旗を受賞。

＝昭和54年＝

消防本部	11月	士別地方少年婦人防火委員会を設立。
士別市	9月	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し消防署に配置。
	11月	上士別分遣所2階に消防団員待機室を増築。
	〃	指令車(トヨタランドクルーザー)を購入し消防署に配置。
和寒町	7月	第8回北海道消防操法訓練大会に出場。
	9月	消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)を購入し和寒消防団に配置。

＝昭和55年＝

消防本部	12月	消防長に伽賀悟郎(副管理者併任)就任。
士別市	7月	上士別消防団創立70周年記念式典を挙行。
	〃	上士別消防団長に小林長市就任。
	9月	士別消防団第2分団庁舎(中士別分遣所)を新築。
	〃	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を更新し消防署に配置。
	10月	火災専用電話(119番)と無線装置を本署集中管理とする。
	11月	小型動力ポンプ付積載車(B-2級)を更新し上士別消防団第2分団第1部に配置。
和寒町	4月	支署長に岡田昭男(町総務課長併任)就任。
	8月	和寒消防団創立70周年記念式典を挙行。
剣淵町	4月	支署長に簗田三郎(町総務課長併任)就任。
	9月	消防団長に三野田照義就任。
	10月	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し剣淵支署に配置。
	11月	消防庁舎を新築移転。

＝昭和56年＝

消防本部	12月	消防長に松本正義就任。
士別市	4月	市内4消防団が統合して士別市消防団となり、初代団長に谷正一就任。
	10月	屈折はしご車(21m級)車庫を新築。(鉄骨平屋建　159.37㎡)
	〃	屈折はしご付消防ポンプ自動車(21m級)を購入し消防署に配置。
	〃	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し中央第2分団に配置。

士別市　11月　上士別第2分団団員待機室を改築。
12月　上士別分遣所職員住宅が完成。
和寒町　4月　消防団名を「和寒消防団」から「和寒町消防団」に変更。
10月　消防団機関員を10名に増員。
〃　小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し和寒支署に配置。
剣淵町　4月　消防団名を「剣淵消防団」から「剣淵町消防団」に変更。
7月　モーターサイレン(10馬力)を増設。
朝日町　4月　消防団名を「朝日消防団」から「朝日町消防団」に変更。

＝昭和57年＝

士別市　1月　消防出初式で上士別第1・2分団が無火災500日以上で団長表彰を受賞。
4月　署長に山下和男就任。
〃　消防後援会を統合し「士別市消防後援会」と改称し、初代会長に田中武義が就任。4支部体制となる。
9月　小型動力ポンプ積載消防自動車(B-2級)を購入し中央第2分団第3部に配置。
〃　消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し温根別分団に配置。
和寒町　4月　支署長に菅野参就任。
10月　和寒消防庁舎を増築。
剣淵町　11月　水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型3,000ℓ)を購入し剣淵支署に配置。
朝日町　4月　支署長に岩端義春就任。
8月　消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を更新し朝日支署に配置。

＝昭和58年＝

士別市　6月　温根別幼年消防クラブ設立。士別幼年消防クラブ設立。
10月　救急自動車(2B型)を更新し消防署に配置。
〃　消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し多寄分団に配置。
和寒町　3月　無線式サイレン遠隔装置を導入し、第3分団詰所(中和)に固定局を設置。
4月　中和分遣所を廃止し、詰所に変更。
5月　指揮車(トヨタマークⅡ)を購入し和寒支署に配置。
9月　和寒町消防団第3分団創立50周年式典を挙行。
剣淵町　〃　剣淵ライオンズクラブから広報車(トヨタマークⅡ)が寄贈。
10月　支署長に山川茂(町総務課長併任)就任。
朝日町　4月　消防団長に中原国重就任。
7月　上川地区消防操法訓練大会でポンプ車の部優勝。
9月　小型動力ポンプ付積載消防自動車(B-2級)を購入し朝日消防団第3部に配置。
11月　小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し朝日支署に配置。

＝昭和59年＝

消防本部　12月　消防長に山下和男就任。
士別市　1月　温根別分団、無火災674日達成により消防長表彰を受賞。
8月　水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型2,000ℓ)を購入し消防署に配置。
剣淵町　〃　消防団創立80周年記念式典を挙行。
朝日町　7月　救急自動車(2B型)を更新し朝日支署に配置。

＝昭和60年＝

消防本部　4月　消防長に奈良俊雄就任。
士別市　〃　署長に穴井滋夫就任。
〃　多寄分遣所を業務委託とする。
8月　多寄分遣所(多寄出張所)合同庁舎を改築落成。
9月　消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を更新し中央第1分団に配置。
10月　救急自動車(2B型)を更新し消防署に配置。
和寒町　9月　水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型2,000ℓ)を購入し和寒支署に配置。
朝日町　4月　支署長に斉藤正幸(町総務課長補佐併任)就任。

朝日町　12月　災害緊急通報施設として、消防サイレン遠隔装置(電子サイレン)を設置。

＝昭和61年＝

消防本部　7月　総務課、消防課に組織改革。
士別市　〃　消防署を庶務課、予防課、警防課の3課に組織改革。
9月　水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型2,000ℓ)を購入し消防署に配置。
12月　温根別町南1線に温根別分遣所庁舎改築落成。
和寒町　5月　小型動力ポンプ(ラビットPB303S)を購入し和寒支署に配置。
剣淵町　9月　超短波無線電話機(基地局、固定局出力10w)を更新。
朝日町　1月　支署長に木村重信就任。
12月　指令車(トヨタランドクルーザー)にスノープラウを装備し除雪車兼用として朝日支署に配置。

＝昭和62年＝

士別市　4月　消防団長に及川力男就任。
6月　中士別婦人防火クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
8月　温根別分団が無火災1,000日を達成し消防長表彰を受賞。
9月　士別ライオンズクラブから指令車(トヨタクラウンバン)を寄贈され消防署に配置。
11月　署長に坂本久雄就任。
和寒町　5月　救急自動車(2B型)を購入し和寒支署に配置。
朝日町　4月　消防団長に佐藤正高就任。

＝昭和63年＝

消防本部　4月　消防長に市田孝一就任。
士別市　〃　署長に佐藤明夫就任。
6月　多寄少年消防クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
7月　中士別分遣所を消防団員業務委託とする。
12月　化学消防ポンプ自動車(化－Ⅱ型2,500ℓ・薬剤500ℓ)を更新し消防署に配置。
和寒町　4月　支署長に森船司(総務課長)就任。
12月　水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型7,000ℓ)を購入し和寒支署に配置。
剣淵町　3月　水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型2,500ℓ)を購入し剣淵支署に配置。
6月　超短波無線電話機(出力10w、陸上移動局1基)を増設。
10月　支署長に佐藤信雄(総務課長併任)就任。

＝平成元年＝

消防本部　11月　消防長に片岡哲男就任。
士別市　6月　虎の子少年消防クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
和寒町　4月　支署長に佐々木啓二就任。
9月　中和第3分団詰所(木造平屋89.1㎡)を改築。
剣淵町　4月　支署長に山田文雄、消防団長に坂東弘就任。
〃　剣淵町消防団の3分団を2分団に編成替。
朝日町　3月　空気呼吸器2台、軽量空気呼吸器ボンベ4本を購入。
4月　支署長に小野敏男(産業課長兼農政係長併任)就任。
12月　消防庁舎機材庫を増築。鉄筋コンクリート47.52㎡(車庫補修、屋根張替、ホース乾燥塔移築工事)

＝平成2年＝

消防本部　2月　士別地方幼少年婦人防火委員会がクラブ育成指導及び防火普及に尽くした功績で、日本消防協会長表彰を受賞。
士別市　1月　救急自動車(昭和63年式2B型)を市立士別総合病院から移管し消防署に配置。
3月　指令車(トヨタランドクルーザー・中古車)を購入し消防署に配置。
6月　青空少年消防クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
8月　日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型2,000ℓ)を寄贈され消防署に配置。
和寒町　9月　和寒町消防団創立80周年記念式典を挙行。

剣淵町	5月	小型動力ポンプ積載消防自動車(マツダブローニートラック)を購入し剣淵支署に配置。
朝日町	4月	支署長に早坂良一(総務課長併任)就任。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型6,500ℓ)を更新し朝日支署に配置。

＝平成3年＝

士別市	4月	消防団長に五十嵐栄治就任。
	〃	温根別分遣所を消防団員業務委託とする。
	10月	救急自動車(2B型)を更新し消防署に配置。
	11月	士別市緊急通報システムを導入し、受信装置を消防署に設置。
和寒町	4月	消防団長に山中繁松就任。
剣淵町	3月	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入配置し剣淵支署に配置。
	4月	支署長に中田敏彦就任。
朝日町	〃	支署長に瀧上敬司(総務課長併任)就任。

＝平成4年＝

消防本部	9月	日本防火協会から広報車(いすゞファーゴ)の寄贈。
士別市	6月	天塩川水防演習を士別市下士別町44線、士別鉄道橋下流において開催。
	〃	あかしや少年消防クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
	7月	テレホンサービス10回線(多回線応答装置)を消防署に設置。
和寒町	5月	指令車(トヨタハイラックス4WDダブルキャブ)を購入し和寒支署に配置。

＝平成5年＝

士別市	12月	上士別分遣所を消防団員業務委託とする。
朝日町	2月	消防団長に塚田政良就任。
	6月	小型動力ポンプ(C-1級)を更新し朝日支署に配置。

＝平成6年＝

消防本部	7月	消防長に佐藤豊就任。
士別市	3月	ろうあ者対策として、緊急通報システムにFAX119番通報受付を付加。
	〃	上士別第1分団と第2分団を統合し、上士別分団と改称。
	4月	消防署勤務体制を3部制とする。
	8月	小型貨物自動車(トヨタハイラックス)を購入し消防署に配置。
朝日町	7月	救急自動車(2B型)を更新し朝日支署に配置。
	8月	消防庁舎事務所及び会議室を改修。

＝平成7年＝

士別市	3月	水槽付ポンプ自動車(水-Ⅱ型3,000ℓ)を更新し消防署に配置。
	4月	消防団長に中村徹雄就任。
	6月	上士別瑞穂少年消防クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
	12月	上士別分団、成美地区拠点施設を改築。
和寒町	3月	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し和寒町消防団に配置。
剣淵町	6月	油圧救助資機材(ルーカス)を購入し剣淵支署に配置。
朝日町	4月	支署長に小野敏男(総務課長併任)就任。

＝平成8年＝

士別市	11月	中士別婦人防火クラブが北海道知事表彰を受賞。
	〃	温根別分団が無火災記録1,000日を達成、管理者表彰を受賞。
朝日町	5月	背負式消火器具10基を更新し朝日支署に配置。

＝平成9年＝

士別市	4月	消防署を管理課、予防課の2課、2隊制に組織改革。
	〃	署長に河野孝幸就任。
	11月	多寄少年消防クラブが北海道知事表彰を受賞。
和寒町	4月	支署長に虻川清就任。
剣淵町	〃	消防団長に石井恒夫就任。

朝日町　　11月　支署長に加茂利明(町総務課長併任)就任。

＝平成10年＝

士別市　　12月　道路拡幅工事に伴い上士別分団の望楼を移設。
和寒町　　4月　支署長に鈴木輝男(総務課長併任)就任。
　　5月　支署長に白鳥真一就任。
　　12月　水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型2,000ℓ)を購入し和寒支署に配置。
朝日町　　12月　支署長に瀧上敬司(町総務課長併任)就任。

＝平成11年＝

士別市　　1月　救急自動車(2B型)を更新し消防署に配置。
　　6月　士別市消防団が、北海道消防協会より竿頭綬を受賞。
　　7月　多寄農協婦人防火クラブが北海道消防協会長表彰を受賞。
剣淵町　　10月　水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型6,000ℓ)を購入し剣淵支署に配置。
朝日町　　4月　消防団長に坂本勝己就任。

＝平成12年＝

消防本部　　9月　道央自動車道の旭川鷹栖～和寒間開通に伴い、高速自動車道事故対策訓練を実施。(参加消防本部 旭川市消防本部・上川中部・士別地方)
士別市　　11月　虎の子少年消防クラブが北海道知事表彰を受賞。
和寒町　　4月　支署長に石上和明就任。
　　9月　和寒町消防団創立90周年記念式典を挙行。
　　10月　道央自動車道、旭川鷹栖～和寒間が開通し救急隊を1隊増設。

＝平成13年＝

士別市　　3月　高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を更新し消防署に配置。
　　4月　救急救命士運用を救急救命士4名で運用開始。
　　12月　指令車(トヨタランドクルーザー)を更新し消防署に配置。
和寒町　　2月　高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し和寒支署に配置。
　　4月　消防団長に橋本孝太郎就任。
　　11月　消防庁舎を増改築。(693.74㎡)消防通信指令台導入。
剣淵町　　4月　消防団長に中林英夫就任。
朝日町　　12月　消防庁舎を増改築、592.11㎡。(車庫増築85.05㎡)

＝平成14年＝

消防本部　　4月　消防長事務取扱に吉越三矩(助役)就任。
　　6月　消防長に杉本正人就任。
士別市　　4月　消防団長に鈴木豊就任。
　　9月　士別ライオンズクラブから創立40周年記念として広報車(トヨタサクシード)が寄贈され消防署に配置。
　　11月　青空少年消防クラブが、北海道知事表彰を受賞。
和寒町　　4月　支署長に樋口安史就任。
　　12月　役場屋上にサイレンを設置。
剣淵町　　4月　支署長に福川海之(町総務課長併任)就任。
朝日町　　1月　支署長に室園隆就任。
　　9月　茂志利機械器具置場(屋根)を改修。

＝平成15年＝

消防本部　　10月　道央自動車道、和寒～士別剣淵開通に伴い、高速自動車事故対策訓練を開催。
士別市　　2月　士別市消防団が日本消防協会より竿頭綬を受賞。
　　〃　小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新し消防署に配置。
　　6月　市民消防フェスティバルを総合体育館前で開催。
　　7月　士別市消防創立100周年記念式典を挙行。
　　10月　道央自動車道、和寒～士別剣淵開通。
和寒町　　11月　小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新し和寒支署に配置。

剣淵町	4月	剣淵支署長職務代理に秋庭良雄(次長兼務)就任。
	9月	剣淵ライオンズクラブから広報車(ニッサンセレナ)が寄贈され剣淵支署に配置。

＝平成16年＝

消防本部	4月	消防長に重木敏明就任。
士別市	2月	消防庁舎(通信室、仮眠室、待機室)を改修。
	3月	高機能消防指令センター運用開始。
	4月	署長に美口正弘就任。
	6月	北光自治会婦人防火クラブが北海道消防協会定例表彰を受賞。
	11月	あかしや少年消防クラブが北海道知事表彰を受賞。
剣淵町	4月	支署長に秋庭良雄就任。
	8月	剣淵町消防創立100周年記念式典を挙行。

＝平成17年＝

事務組合	9月	士別市と朝日町が合併して新士別市となり、事務組合の構成が1市2町となる。朝日支署は朝日支所と名称変更。
士別市	4月	署長に山本雄一就任。
	9月	消防署を管理課、警防1課、警防2課、予防課、朝日支所の4課1所に組織改革。
和寒町	4月	消防団長に馬場宣昭就任。
剣淵町	4月	消防団長に佐々木武彦就任。
朝日町	3月	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を更新し朝日支署に配置。

＝平成18年＝

士別市	2月	携帯電話119番を直接受信に変更。
	7月	朝日支所通信指令台及びサイレン吹鳴装置を消防署に統合。
和寒町	2月	支署長に丹羽茂就任。

＝平成19年＝

士別市	3月	屈折はしご付消防ポンプ自動車(21m級)を廃車。
	4月	士別市消防団と朝日町消防団が統合し士別市消防団を再編。(朝日町消防団を朝日分団とし、6分団制となる。)
	9月	NTTひかり電話(IP119)の受信を開始。
	〃	JA共済連北海道本部より高規格救急自動車(トヨタハイメディック)が寄贈され、消防署に配置。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水－Ⅱ型2,000ℓ)を更新し消防署に配置。
剣淵町	4月	剣淵支署長事務代理に尾形芳裕就任。

＝平成20年＝

消防本部	1月	消防長事務取扱に相山慎二副市長就任。
	4月	消防長に佐々木幸二就任。
士別市	〃	署長に吉川隆就任。
	6月	油圧救助資機材(ホルマトロ)を更新し消防署に配置。
	8月	半自動体外式除細動器購入し、救急2に積載。
	11月	消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を更新し中央第1分団3部に配置。
	〃	イーモバイル受信を開始。
剣淵町	4月	剣淵支署長に尾形芳裕就任。

＝平成21年＝

士別市	2月	地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金で高度救急処置シミュレーターを購入。
	3月	地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金で救助マットを購入。
	4月	消防団長に小林満雄就任。
	7月	広報車(トヨタランドクルーザープラド)を更新し消防署に配置。
	8月	地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、ホース洗浄機及び半自動体外式除細動器を購入。

士別市	9月	地域活性化・経済危機対策臨時交付金で水難救助ボート、圧縮空気泡消火銃及びオゾン発生装置を購入し消防署に配置。
	10月	地域活性化・経済危機対策臨時交付金で熱画像直視装置を購入し消防署に配置。
士別市 剣淵町	〃	剣淵町119番受信を消防署に統合。(通信指令台及び消防サイレン吹鳴装置の統合)
和寒町	4月	支署長に瓜幹夫、消防団長に白土春夫就任。
	〃	消防団機構改革により4分団から2分団に再編。

＝平成22年＝

士別市	5月	消防署事務所改修事業(デスク共有化・収納キャビネット整備)を実施。
	〃	上士別消防団、旧大和詰所の火の見櫓を解体。
	8月	地域活性化・きめ細やかな臨時交付金にて消防団拠点施設の改修事業を実施。(中央第1分団)
	9月	救急救命訓練塔竣工。

＝平成23年＝

消防本部	3月	東日本大震災発生により、緊急消防援助隊北海道隊道北第4次派遣隊として救急隊1隊5名を石巻市へ派遣。
	4月	東日本大震災発生により、緊急消防援助隊北海道隊道北第11次派遣隊として救急隊1隊5名を石巻市へ派遣。
	〃	消防長に有馬芳孝就任。
士別市	〃	署長に中山悟就任。
	7月	北海道消防操法訓練大会に士別市消防団中央第1分団出場。
剣淵町	4月	支署長事務代理に金村良則就任。

＝平成24年＝

士別市	2月	小型動力ポンプ付積載車(B-2級)を更新し中央第2分団第3部に配置。
	3月	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を更新し消防署に配置。
	11月	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を更新し消防署に配置。
剣淵町	4月	支署長に金村良則就任。
	9月	電動油圧救助資機材(ルーカス)のラムシリンダーを購入。

＝平成25年＝

消防本部	4月	消防長に粟根禎二就任。
	11月	和寒町119番受信を統合し、組合内通信一元化を開始。
士別市	4月	署長に波能靖仁、消防団長に細川博司就任。
	10月	士別市防災訓練(大規模地震想定)に参加。 ※北海道警察、旭川赤十字病院(Drヘリ)、学校、市と合同
	12月	小型動力ポンプ付積載車(B-2級、C-1級)を更新し上士別分団第3部に配置。
和寒町	4月	消防団長に伏見豊治就任。
剣淵町	〃	消防団長に山口好男就任。
	6月	空気呼吸器(ライフゼム)を2台更新購入。
	8月	ホース乾燥塔改修。

＝平成26年＝

消防本部	5月	消防救急デジタル無線化に向けて指令室改修工事着工。
	6月	高機能消防指令センター更新及び消防救急デジタル無線工事着工。
士別市	1月	初の女性消防団員(5名)が士別市消防団に入団。
	11月	水槽付ポンプ自動車(水Ⅰ-A型1,800ℓ)を更新し多寄分団に配置。
	〃	士別指揮1を士別調査1に名称変更。
和寒町	3月	水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型2,000ℓ)を更新し和寒町消防団に配置。
	4月	支署長に秋濱修二就任。
	6月	二相性半自動除細動器を購入し、救急1に積載。
	9月	消防庁舎内部改修。
剣淵町	7月	空気呼吸器(ライフゼム)を1台更新。

＝平成27年＝

消防本部	3月	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用を開始し、通信業務の一元化を開始。
士別市	〃	デジタル無線運用開始に伴うサイレン遠隔吹鳴の廃止。
	4月	署長に寺西克視就任。
	12月	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新し中央第2分団に配置。
和寒町	9月	消防庁舎改修工事。
	11月	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を更新し和寒支署に配置。
剣淵町	5月	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)小型動力ポンプ改修。

＝平成28年＝

消防本部	4月	消防長に大平稔就任。
士別市	2月	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を更新し朝日支所に配置。
	11月	多寄町に耐震性防火水槽1基新設。
剣淵町	4月	支署長に鷹木俊明就任。
	7月	北海道消防操法訓練大会に剣淵町消防団出場。

＝平成29年＝

士別市	3月	化学消防ポンプ自動車(化-Ⅱ型1,300ℓ・薬剤500ℓ)を更新し消防署に配置。
	4月	消防団長に藤原篤就任。
	9月	防災車(スズキソリオ)を購入し消防署に配置。
	10月	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を更新し消防署に配置。
	〃	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型1,800ℓ)を更新し温根別分団に配置。
	11月	多寄町に耐震性防火水槽1基新設。
和寒町	4月	消防団長に杉澤茂就任。
	5月	水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型2,000ℓ)を更新し和寒町消防団に配置。
	6月	水難用レスキューボートを購入し和寒支署に配置。
剣淵町	4月	消防団長に佐藤武就任。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水-Ⅱ型 3,000ℓ)を更新し剣淵支署に配置。

＝平成30年＝

消防本部	4月	消防長に浅利知充就任。
士別市	1月	資機材搬送車(いすゞエルフ)を購入し消防署に配置。
	4月	署長に柳伸幸就任。
	9月	北海道胆振東部地震発生により、北海道広域消防応援派遣隊として消火小隊3名・後方支援隊2名を厚真町へ派遣。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型1,700ℓ)を更新し上士別分団に配置。
和寒町	8月	高度救急処置訓練人形を購入し、和寒支署に配置。
剣淵町	10月	小型ポンプ積載車(マツダタイタン)を更新し剣淵支署に配置。

＝令和元年＝

士別市	12月	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を更新し、中央第1分団に配置。

＝令和2年＝

	4月1日	幌加内町が士別地方消防事務組合に加入し、組合構成市町が1市3町となる。 副管理者 細川雅弘、支署長 水谷修一、消防団長 寺崎嘉男。
消防本部	1月	新庁舎竣工。
	4月	新庁舎移転。(消防本部・消防署、4月17日開庁式)
		庁舎移転に伴い高機能消防指令センター更新。消防救急デジタル無線移設。一部幌加内支署と接続。
	〃	消防長に柳伸幸就任。
士別市	4月	消防署の警防1課を警防課、警防2課を救急課に名称変更。
	〃	署長に沼田隆行、消防団長に西出輝雄就任。
	〃	初の女性消防職員を消防署に採用。

士別市	12月	新型コロナに対する救急搬送体制補強事業でBSモニター、搬送用アイソレーターを購入し、消防署に配置。
幌加内町	8月	消防吏員待機宿舎(1棟2戸のうち1戸)内部改修。

＝令和3年＝

消防本部	9月	名寄市立総合病院との間で心疾患疑いのある傷病者に対し、心電図伝送装置を使用しての遠隔救急支援が開始される。
士別市	3月	新型コロナに対する搬送体制補強事業で殺菌線ロッカーを購入し、消防署及び朝日支所に配置。
	〃	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を更新し消防署に配置。
	4月	消防団長に浦坂一彦就任。
	〃	高規格救急自動車(旧士別救急3)を艤装し、士別指揮1として消防署に配置。
	6月	新型コロナに対する搬送体制補強事業で自動式心臓マッサージシステム(LUCAS3)、CT測定器内蔵オゾン発生装置(BT-088)、緊急医療用テント(FT-22)を購入し、消防署に配置する。
	8月	水難救助用ボートを購入し消防署に配置。
剣淵町	〃	水難救助用ボートを購入し剣淵支署に配置。
幌加内町	3月	小型動力ポンプ積載車(トヨタハイエース)を更新し幌加内町消防団第1分団に配置。

＝令和4年＝

消防本部	4月	士別地方消防事務組合発足50年。
	〃	消防長に古川敬就任。
士別市	〃	署長に佐藤幸樹就任。
	9月	新型コロナに対する救急業務等感染防止対策事業で高度救命処置シミュレーター(セーブマンPRO　LM-119P)を購入し、消防署に配置。
和寒町	7月	北海道消防操法訓練大会に和寒町消防団出場。
剣淵町	4月	支署長に南條純一就任。
幌加内町	3月	小型動力ポンプ積載車(トヨタハイエース)を更新し幌加内町消防団第1分団に配置。
	〃	幌加内町消防団が総務大臣感謝状を受賞。

消防の現況

士別地方消防事務組合消防職員定数の推移　　令和4年4月1日現在

区分＼改正年月日	S52.4.1	S55.4.1	H7.1.1	H7.4.1	H9.4.1	H12.4.1	H12.7.1	H13.4.1	H17.9.1	R1.6.1	R2.4.1	R3.4.1
消防本部	9	9	9	7	7	7	7	7	6	6	6	6
消防署	36	40	40	42	42	42	42	42	52	54	54	55
朝日支所	7	7	8	8	8	9	9	10	—	—	—	—
和寒支署	9	9	9	9	11	11	14	14	14	14	14	15
剣淵支署	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9
幌加内支署	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	15
合計	69	73	74	74	76	77	80	81	80	82	97	100

※平成17年9月1日士別市と朝日町が合併する。
※令和2年4月1日幌加内町が編入する。

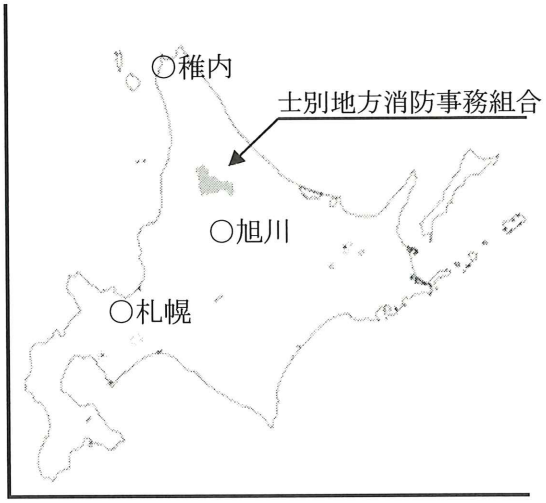
士別地方消防事務組合消防団員定数の推移

区分＼改正年月日	S52.4.1	S55.4.1	S56.4.1	S58.10.1	S60.4.1	S62.10.1	H9.4.1	H10.4.1	H14.4.1	H16.4.1	H17.4.1	H19.4.1	H25.4.1	H28.4.1	R2.4.1
士別市消防団	271	271	267	267	196	196	196	196	177	177	177	212	212	212	212
朝日町消防団	50	50	50	50	50	50	45	45	45	40	40	—	—	—	—
和寒町消防団	90	76	76	76	76	74	70	70	70	70	62	62	52	48	48
剣淵町消防団	55	55	55	50	50	50	50	45	45	45	45	45	45	45	45
幌加内町消防団	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56
合計	466	452	448	443	372	370	361	356	337	332	324	319	309	305	361

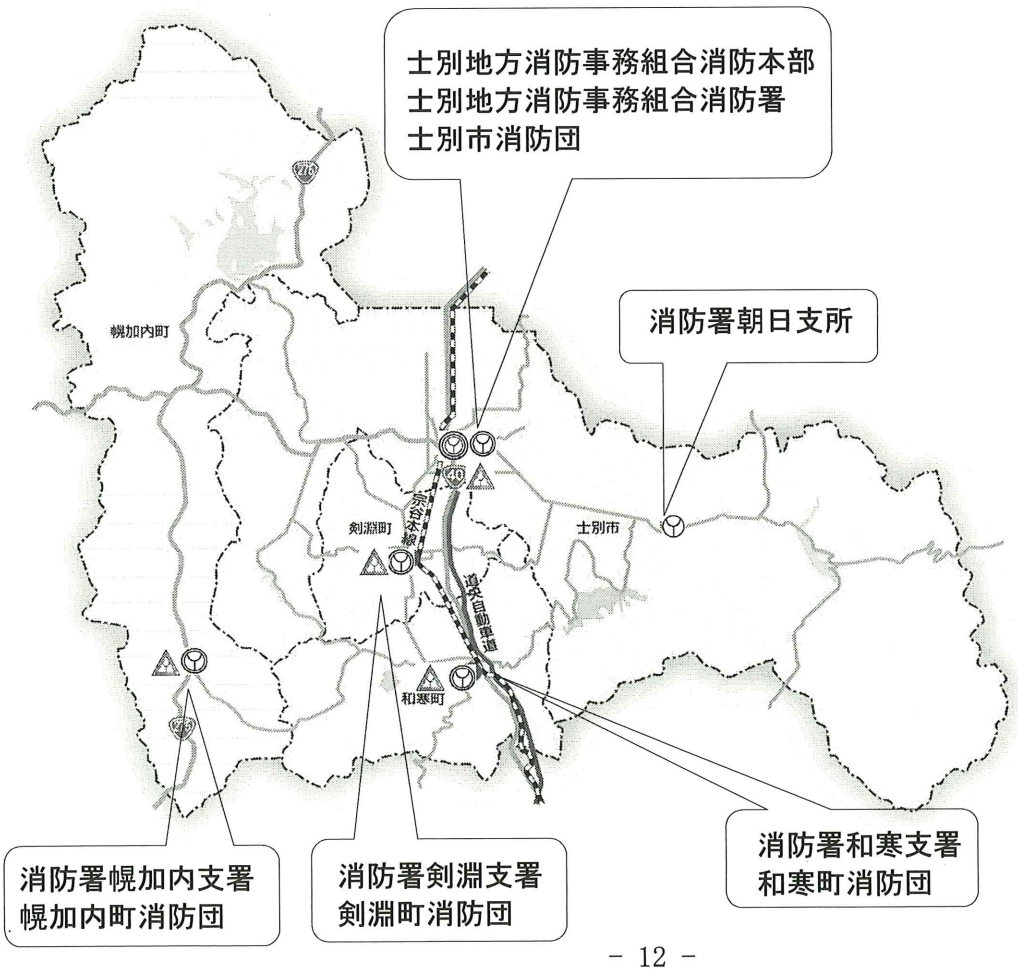
※平成19年4月1日士別市消防団と朝日町消防団が統合する。
※令和2年4月1日幌加内消防団が編入する。

士別地方消防事務組合管轄区域図

凡　例	
	消防本部
	署・支署
	支所
	消防団
	鉄道
	町界

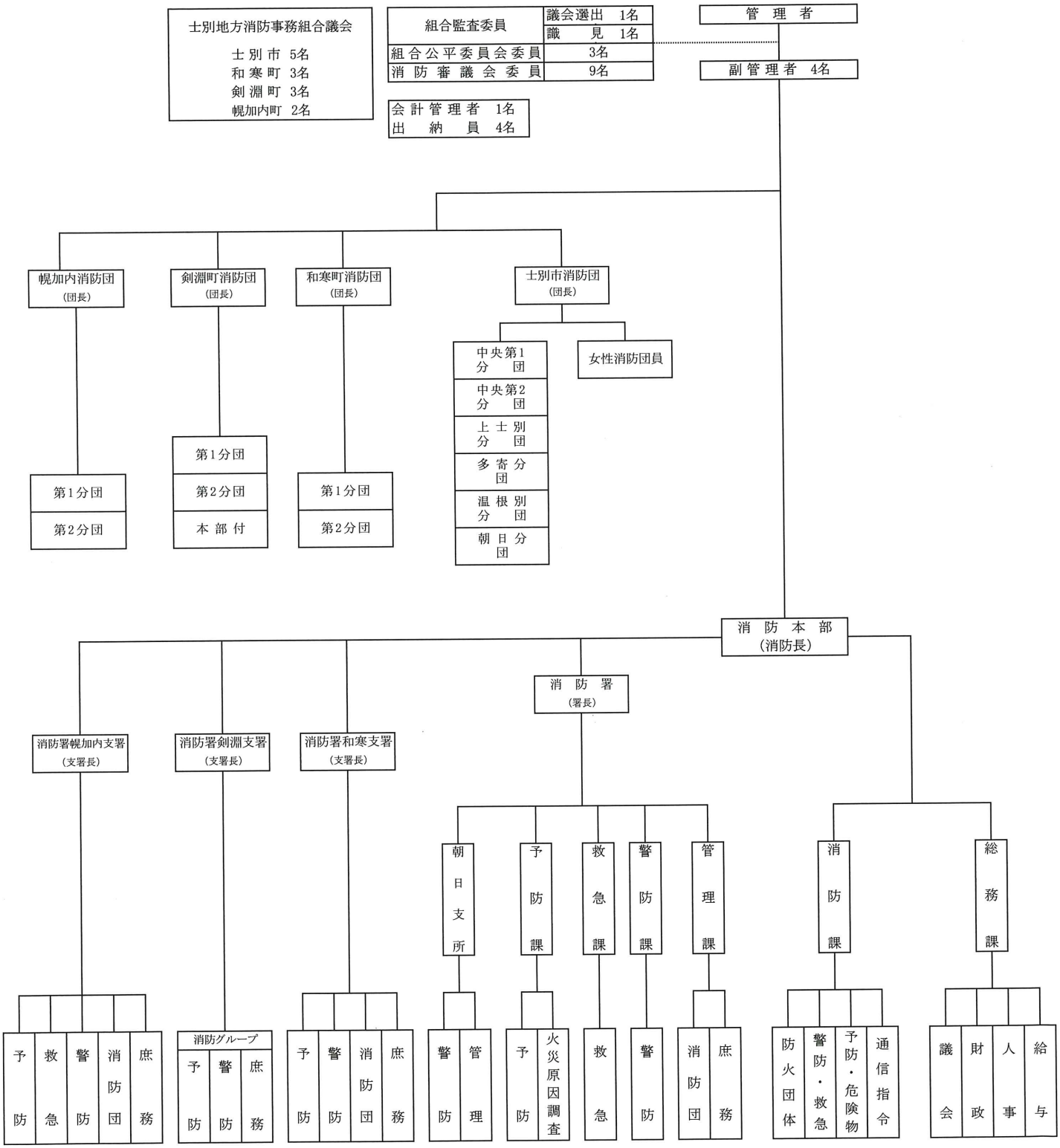


区間	キロ数
士別～和寒	17.2km
士別～剣淵	13.0km
士別～朝日	20.0km
士別～上士別	11.2km
士別～多寄	7.6km
士別～温根別	13.0km
士別～幌加内	43.9km



士別地方消防事務組合組織図

令和5年3月31日現在



組合消防情勢

人口・世帯数

令和4年4月1日

地区別	面　積 (Km²)	世帯数 (戸)	人　口（人）			一世帯あたりの人員（人）	人口密度 (人/Km²)
			合 計	男	女		
士別市	1,119	9,038	17,505	8,331	9,174	1.94	15.64
和寒町	225	1,561	3,066	1,448	1,618	1.97	13.62
剣淵町	130	1,430	2,894	1,417	1,477	2.03	22.26
幌加内町	767	709	1,309	648	661	1.85	1.70
合　　計	2,241	12,738	24,774	11,844	12,930	1.95	11.05

組合勢力と消防現有勢力の比較

地区別	消防職員１名に対して			消防団員１名に対して		
士別市	面　積	世帯数	人　口	面　積	世帯数	人　口
	18.05	145.77	282.34	5.92	47.82	92.62
	62　　名			189　　名		
和寒町	面　積	世帯数	人　口	面　積	世帯数	人　口
	15.00	104.07	204.40	5.77	40.03	78.62
	15　　名			39　　名		
剣淵町	面　積	世帯数	人　口	面　積	世帯数	人　口
	16.25	178.75	361.75	3.25	35.75	72.35
	8　　名			40　　名		
幌加内町	面　積	世帯数	人　口	面　積	世帯数	人　口
	51.13	47.27	87.27	15.34	14.18	26.18
	15　　名			50　　名		
事務組合	面　積	世帯数	人　口	面　積	世帯数	人　口
	22.41	127.38	247.74	7.05	40.06	77.91
	100 名　（本部職員を含む）			318　　名		

消防職員の配置　　令和4年4月1日

所属＼階級別	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
消防本部	1		4	1					6
消防署		1	11	10	11	5	18		56
和寒支署			2	7	4	1	1		15
剣淵支署			1	1	2		4		8
幌加内支署			2	6	2	2	3		15
合計	1	1	20	25	19	8	26		100

年齢別

年齢＼階級別	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
20歳未満							5		5
20歳以上～25歳未満							12		12
25歳以上～30歳未満						7	9		16
30歳以上～35歳未満					13	1			14
35歳以上～40歳未満				2	6				8
40歳以上～45歳未満			1	6					7
45歳以上～50歳未満			4	11					15
50歳以上～55歳未満	1		9	2					12
55歳以上		1	6	4					11
合計	1	1	20	25	19	8	26		100
平均年齢	52.0	57.0	52.6	47.4	33.1	27.5	22.5		37.88

勤続年数別

勤続年数＼階級別	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
1年未満							5		5
1年以上～5年未満	1						19		20
5年以上～10年未満					3	7	2		12
10年以上～15年未満				1	13	1			15
15年以上～20年未満				4	3				7
20年以上～25年未満			3	9					12
25年以上～30年未満			2	4					6
30年以上		1	15	7					23
合計	1	1	20	25	19	8	26		100
勤続平均年数	2.0	36.0	31.8	25.8	12.2	7.4	2.2		16.2

消防団員の配置　　令和4年4月1日

所属＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
士別市消防団	1	2	6	6	16	27	131	189
和寒町消防団	1	1	2	2	2	6	25	39
剣淵町消防団	1	1	2	2	2	5	27	40
幌加内町消防団	1	1	2	2	2	6	36	50
合計	4	5	12	12	22	44	219	318

年齢別

士別市消防団

年齢＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満								
20歳以上～25歳未満							2	2
25歳以上～30歳未満							10	10
30歳以上～35歳未満							8	8
35歳以上～40歳未満						1	22	23
40歳以上～45歳未満						5	41	46
45歳以上～50歳未満					2	4	25	31
50歳以上～55歳未満				2	6	9	10	27
55歳以上～60歳未満			2	3	4	4	5	18
60歳以上～65歳未満	1	1	4	1	4	4	7	22
65歳以上		1					1	2
合計	1	2	6	6	16	27	131	189
平均年齢	64.0	64.5	60.3	56.5	55.4	51.3	42.5	46.2

和寒町消防団

年齢＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満								
20歳以上～25歳未満							1	1
25歳以上～30歳未満							1	1
30歳以上～35歳未満							3	3
35歳以上～40歳未満							7	7
40歳以上～45歳未満						1	5	6
45歳以上～50歳未満						1	5	6
50歳以上～55歳未満			1	1	1	4	2	9
55歳以上～60歳未満							1	1
60歳以上～65歳未満		1	1	1	1			4
65歳以上	1							1
合計	1	1	2	2	2	6	25	39
平均年齢	65.0	63.0	56.5	55.0	58.5	50.7	40.4	45.7

剣淵町消防団

階級別 / 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合　計
20　歳　未　満								
20 歳 以 上 ～ 25 歳 未 満							2	2
25 歳 以 上 ～ 30 歳 未 満								
30 歳 以 上 ～ 35 歳 未 満							5	5
35 歳 以 上 ～ 40 歳 未 満							5	5
40 歳 以 上 ～ 45 歳 未 満							4	4
45 歳 以 上 ～ 50 歳 未 満						2	5	7
50 歳 以 上 ～ 55 歳 未 満				1	1		2	4
55 歳 以 上 ～ 60 歳 未 満				1				1
60 歳 以 上 ～ 65 歳 未 満			2		1	3	3	9
65　歳　以　上	1	1					1	3
合　計	1	1	2	2	2	5	27	40
平　均　年　齢	66.0	70.0	60.0	55.0	58.5	55.4	42.7	47.8

幌加内町消防団

階級別 / 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合　計
20　歳　未　満								
20 歳 以 上 ～ 25 歳 未 満							7	7
25 歳 以 上 ～ 30 歳 未 満							5	5
30 歳 以 上 ～ 35 歳 未 満							3	3
35 歳 以 上 ～ 40 歳 未 満				1	1	2	6	10
40 歳 以 上 ～ 45 歳 未 満						1	3	4
45 歳 以 上 ～ 50 歳 未 満				1	1	1	5	8
50 歳 以 上 ～ 55 歳 未 満			1				1	2
55 歳 以 上 ～ 60 歳 未 満		1	1			1	3	6
60 歳 以 上 ～ 65 歳 未 満	1						1	2
65　歳　以　上						1	2	3
合　計	1	1	2	2	2	6	36	50
平　均　年　齢	61.0	55.0	53.5	42.0	42.0	47.3	38.0	40.9

勤続年数別　　令和4年4月1日

士別市消防団

勤続年数＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満							7	7
1年以上～5年未満							27	27
5年以上～10年未満						1	31	32
10年以上～15年未満						1	28	29
15年以上～20年未満					2	9	27	38
20年以上～25年未満			1		4	8	7	20
25年以上～30年未満				2	6	6	2	16
30年以上～35年未満		2	3	4	3	2	2	16
35年以上～40年未満			1		1			2
40年以上～45年未満			1					1
45年以上	1							1
合計	1	2	6	6	16	27	131	189
勤続平均年数	45.0	33.5	33.0	30.5	25.9	21.6	10.4	15.1

和寒町消防団

勤続年数＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満								
1年以上～5年未満							6	6
5年以上～10年未満							2	2
10年以上～15年未満							8	8
15年以上～20年未満							9	9
20年以上～25年未満					1	6		7
25年以上～30年未満				1	1			2
30年以上～35年未満			2	1				3
35年以上～40年未満		1						1
40年以上～45年未満	1							1
45年以上								
合計	1	1	2	2	2	6	25	39
勤続平均年数	44.0	39.0	32.5	28.5	25.0	20.7	10.8	16.7

剣淵町消防団

勤続年数＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満							1	1
1年以上～5年未満							3	3
5年以上～10年未満							10	10
10年以上～15年未満							4	4
15年以上～20年未満							3	3
20年以上～25年未満						1	3	4
25年以上～30年未満					1	2		3
30年以上～35年未満			1	2	1	1	1	6
35年以上～40年未満		1	1			1		3
40年以上～45年未満	1						1	2
45年以上							1	1
合計	1	1	2	2	2	5	27	40
勤続平均年数	41.0	38.0	34.0	31.5	30.0	28.4	13.2	19.2

幌加内町消防団

勤続年数＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満							7	7
1年以上～5年未満							13	13
5年以上～10年未満						1	6	7
10年以上～15年未満					1	2	1	4
15年以上～20年未満			1	1		2	1	5
20年以上～25年未満		1		1	1		4	7
25年以上～30年未満							3	3
30年以上～35年未満			1			1		2
35年以上～40年未満	1							1
40年以上～45年未満								
45年以上							1	1
合計	1	1	2	2	2	6	36	50
勤続平均年数	36.0	21.0	25.0	20.5	18.5	16.0	8.9	12.0

消防庁舎の現況

名　　称	竣工年月日	所 在 地	構造及び延べ面積	敷地面積	備　　考
士別消防庁舎	R2.1.15	士別市東6条4丁目1番地	鉄筋コンクリート2階建 1,578.69㎡	1,713.22㎡	士別市役所合同庁舎
中央第1分団詰所	S56.11.10	士別市東6条3丁目13番地	鉄骨造、平屋建 159.87㎡	不詳	
朝日消防庁舎	S49. 3.31	士別市朝日町中央4040番地	鉄筋コンクリート、一部2階建 592.11㎡	1,000㎡	
上士別分遣所	S47.12. 1	士別市上士別町16線南2	木造モルタル造、2階建 171.41㎡	3,729.05㎡	上士別出張所併用
上士別職員住宅	S56.12.15	士別市上士別町16線南2	木造モルタル造、2階建 101.25㎡	上記に含む	
中士別分遣所	S55. 8.30	士別市中士別町4線東	木造モルタル造、平屋建 174.15㎡	1,467.71㎡	
温根別分遣所	S61.12.10	士別市温根別町南1線	セラミックブロック造、平屋建 137.70㎡	1,080.05㎡	
温根別職員住宅	S52.11.18	士別市温根別町南1線	木造モルタル造、平屋建 58.32㎡	上記に含む	
多寄分遣所	S60. 2. 7	士別市多寄町36線西4	セラミックブロック造、平屋建 220.07㎡	3,082.38㎡	多寄出張所併用
中央第2分団 第3部詰所	S47. 3. 1	士別市武徳町44線東6	木造モルタル造、平屋建 39.66㎡	137.83㎡	士別市財産
上士別分団 第3部詰所	H7.12. 6	士別市上士別町20線南31	鉄骨造、平屋建 87.48㎡	398.05㎡	

名　　称	竣工年月日	所 在 地	構造及び延べ面積	敷地面積	備　　考
消防署和寒支署消防庁舎	S53. 8.20	和寒町字西町109番地	鉄筋コンクリート、一部2階建 679.97㎡	2,034㎡	和寒町役場合同庁舎
中和詰所	H1. 9. 1	和寒町字中和215番地	木造モルタル造、平屋建 89.1㎡	215㎡	
消防署剣淵支署消防庁舎	S55.11. 1	剣淵町仲町37番1号	鉄筋コンクリート、3階建 430㎡	11,089.59㎡	剣淵町役場合同庁舎
消防署幌加内支署消防庁舎	S59.12.3	幌加内町字平和4608番地74	鉄筋コンクリート2階建 952.31㎡	4,366㎡	
朱鞠内分遣所	H5.12.6	幌加内町字朱鞠内6413番地3、6413番地4	鉄筋コンクリート2階建て 273.35㎡	2,455.21㎡	
第1分団 政和詰所	H12.12.22	幌加内町字政和第二 6118番地1、6119番地1、 6282番地6	鉄筋コンクリート 40.5㎡	2,650.7㎡	幌加内町財産
第2分団 添牛内詰所	S54.12.15	幌加内町字添牛内6224番地1、6226番地1	木造モルタル造、平屋建 150.57㎡	250㎡	幌加内町財産
第2分団 母子里詰所	S60.11.15	幌加内町字母子里8412番地1	鉄筋コンクリート 23.87㎡	2,160㎡	幌加内町財産
幌加内支署 職員待機住宅1	S59.11	幌加内町字平和4608番地81	準耐火、平屋建1棟2戸 133.2	630.00	
幌加内支署 職員待機住宅2	S60.9	幌加内町字平和4608番地3、4608番地81、4608番地82	準耐火、平屋建1棟2戸 133.2	570.00	
幌加内支署 職員待機住宅3	H7.8	幌加内町字平和4608番地3、4608番地44、4608番地76	木造ALC板、平屋建1戸 75.33	952.31	

※合同庁舎及び出張所併用している消防施設の敷地面積は、市、町庁舎との延べ面積を記載。

（令和5年4月1日）

消　防　予　算

※本表は令和2年4月幌加内支署加入により1市3町の構成市町事務組合として掲載しています

令和５年度当初予算

歳入			（千円）	歳出			（千円）
款	項	金　額	比率（%）	款	項	金　額	比率（%）
分担金及び負担金	負担金	1,006,819	99.5	議会費	議会費	362	0.0
使用料及び手数料	手数料	100	0.0	総務費		109,857	10.9
財産収入	財産運用収入	805	0.1		総務管理費	109,693	10.8
寄附金	寄附金	1	0.0		監査委員費	164	0.0
繰越金	繰越金	4	0.0	消防費		901,819	89.1
諸収入	雑入	4,409	0.4		士別消防費	514,652	50.8
					和寒消防費	151,398	15.0
					剣淵消防費	79,063	7.8
					幌加内消防費	156,709	15.5
				予備費	予備費	100	0.0
歳入合計		1,012,138	100.0	歳出合計		1,012,138	100.0

一般会計予算と消防費負担金

区分／市町	一般会計予算 A （千円）	消防費負担金 B （千円）	比較 B/A （%）	住民１人当たりの消防費 （円）	１世帯当たりの消防費 （円）
士別市	15,996,899	551,415	3.45	32,184	61,542
和寒町	4,495,000	168,408	3.75	56,551	110,504
剣淵町	3,712,000	97,831	2.64	34,327	69,433
幌加内町	3,686,806	172,165	4.67	135,137	250,240
計	27,890,705	989,819	3.55	40,843	78,676

消防費の推移

区分／年度	消防費負担金 （千円）	住民１人当たりの消防費 （円）	１世帯当たりの消防費 （円）
平成３０年度	1,312,718	50,975	104,325
平成３１年度	1,537,226	60,994	123,403
令和２年度	1,085,061	41,648	82,962
令和３年度	981,948	38,546	75,639
令和４年度	1,117,641	45,113	87,741
令和５年度	989,819	40,843	78,676

消　防　施　設

組合管内無線通信施設概要

無線設備設置状況

無線局別 ＼ 地区別		士別消防署						和寒支署	剣淵支署	幌加内支署		事務組合 計
		士別	朝日	上士別	温根別	多寄	中士別	和寒	剣淵	幌加内	朱鞠内	
デジタル	基地局無線設備	1		1	1				1	1	1	6
	陸上移動局無線設備（車載型）	15	5	2	1	1	2	7	5	9	1	48
	陸上移動局無線設備（携帯型）	3						1	2	10		16
	陸上移動局無線設備（可搬型）	1	1					1				3
	陸上移動局無線設備（卓上型）	1										1
アナログ	基地局無線設備											
	陸上移動局無線設備（車載型）											
	陸上移動局無線設備（携帯型）											
	署活系移動局無線設備（携帯型）	12										12
※登録局	簡易基地局無線設備	2	1	2	1	1	1	2	2	1		13
	簡易無線設備（車載）	12	2					6	5			25
	簡易無線設備（携帯）	21	8	4	4	4	4	19	6	24	7	101

※ 登録局簡易無線設備については消防団事務連絡等業務に使用

デジタル無線設備主要構成

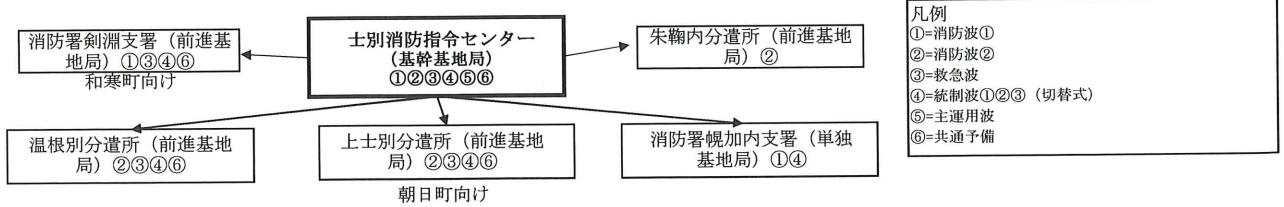
設置場所別 ＼ 装置構成		無線装置構成	無線回線制御装置	チャネル区分	空中線構成（地上高）
士別	指令センター（基幹基地局）	基本架（１架）＋増設架（１架）＊	１架	消防波①・消防波②・救急波 統制波①②③（切替式）・主運用波	2段コーリニア型×6本 (28.7mH)
	指令センター（共通波モニタ用）	卓上固定型移動局無線装置（１式）＊		統制波①②③ （常時スキャン方式）	2段コーリニア型×1本 (14.8mH)
	消防署上士別分遣所（前進基地局）	基本架（１架）＋増設架（1架）＊		消防波②・救急波 統制波①②③（切替式）	3素子八木型×4本 (14.8mH)
	消防署温根別分遣所（前進基地局）	基本架（１架）＋増設架（1架）＊		消防波②・救急波 統制波①②③（切替式）	2段コーリニア型×4本 (14.8mH)
剣淵	消防署剣淵支署（前進基地局）	基本架（１架）＋増設架（1架）＊		消防波①・救急波 統制波①②③（切替式）	反射素子付コーリニア型×4本 (27.0mH)
幌加内	幌加内支署（単独基地局）	基本架(1架)		消防波①・統制波①②③（切替式）	反射素子付コーリニア型
	朱鞠内分遣所（前進基地局）	基本架(1架)		消防波②	コーリニア型

＊ 予備機については共通予備機

電源設備主要構成(一部指令系施設共有)

設置場所別 ＼ 装置構成		非常用発動発電機	無停電電源装置	直流電源装置
士別	消防本部（基幹基地局）	ディーゼル発電機 50kVA×1台(24時間補償)	5.0kVA×2台 (定格10分間補償)	DC-48V 90A (100%負荷180分補償)
	消防署上士別分遣所（前進基地局）	ディーゼル発電機 10kVA×1台(24時間補償)	1.0kVA×1台 (定格10分間補償)	DC-48V 30A (100%負荷180分補償)
	消防署温根別分遣所（前進基地局）	ディーゼル発電機 10kVA×1台(24時間補償)	1.0kVA×1台 (定格10分間補償)	DC-48V 30A (100%負荷180分補償)
剣淵	消防署剣淵支署（前進基地局）	ディーゼル発電機 10kVA×1台(24時間補償)	1.0kVA×2台 (定格10分間補償)	DC-48V 30A (100%負荷180分補償)
和寒	和寒支署		1.0kVA×1台 (定格10分間補償)	
幌加内	幌加内支署（単独基地局）	ガソリン発電機5.5ｋVa×1台	1.0kVA×1台	DC-48V　５０A
	朱鞠内分遣所（前進基地局）	ガソリン発電機4ｋVa×1台	3.0ｋVa×１台	DC-48V

デジタル無線組合管内通信系統図



署・支署の車両勢力

区分／所属	名称	車別	登録番号	形式	ポンプ級別	年式	車種
消防本部	士別指令2	防災パトロール車	旭川800さ2481			H13.12	トヨタ
消防署	士別指令1	指揮車	旭川800さ6406			H21.7	トヨタ
	士別指揮1	指揮車	旭川831ゆ119			H19.9	トヨタ
	士別水槽	小型動力ポンプ付水槽車	旭川800は544		B－2	H15.2	日野
	士別タンク1	水槽付ポンプ車	旭川88た1182	水Ⅱ型	A－2	H7.3	日野
	士別救助	化学車	旭川800は2036	Ⅱ型	A－2	H29.3	日野
	士別タンク2	水槽付ポンプ車	旭川800は1135	水Ⅱ型	A－2	H19.12	日野
	士別救急1	救急自動車	旭川830す991	高規格		H24.11	日産
	士別救急3	救急自動車	旭川830せ993	高規格		R3.3	トヨタ
	士別支援1	資機材搬送車	旭川800さ9568			H30.1	いすゞ
	士別防災	防災パトロール車	旭川800さ9441			H29.9	スズキ
	士別救急	広報車	旭川800さ1809			H13.3	日産
	トレーラー	ボート積載	旭川800る181			H13.12	トレールライト
朝日支所	朝日指令	防災パトロール車	旭川830む119			H14.9	トヨタ
	朝日1	消防ポンプ車	旭川800さ8867	CD-Ⅱ	A－2	H28.2	日野
	朝日水槽	小型動力ポンプ付水槽車	旭川831の119		B－2	H17.3	日野
	士別救急2	救急自動車	旭川830さ992	高規格		H29.9	トヨタ
和寒支署	和寒指令	指令車	旭川800さ6605			H21.12	トヨタ
	和寒1	水槽付ポンプ車	旭川88た1862	水Ⅱ型	A－2	H10.12	いすゞ
	和寒水槽	小型動力ポンプ付水槽車	旭川800は632		B－2	H15.10	日野
	和寒救急	救急自動車	旭川832り119	高規格		H27.11	トヨタ
剣淵支署	剣淵指令	指令車	旭川800さ3694			H15.9	日産
	剣淵タンク2	水槽付ポンプ車	旭川830す1711	水Ⅱ型	A－2	H29.12	日野
	剣淵水槽	小型動力ポンプ付水槽車	旭川88た605		B－2	H3.3	日野
幌加内支署	幌加内指令	指令車	旭川832さ119			H20.10	トヨタ
	幌加内救急	救急自動車	旭川830さ1209			H24.9	トヨタ
	幌加内タンク	水槽付ポンプ車	旭川831る119	Ⅱ型	A－2	H20.3	日野
	幌加内水槽	小型動力ポンプ付水槽車	旭川830そ119	Ⅱ型	B－2	H11.12	いすゞ

車両配置

車種 / 所属	小型動力ポンプ付水槽車	水槽付ポンプ車	消防ポンプ車	化学車	高規格救急車	指揮車	広報車指令車	その他車両	計
消防本部								1	1
消 防 署	2	2	1	1	3	2	1	4	16
和寒支署	1	1			1		1		4
剣淵支署	1	1					1		3
幌加内支署	1	1			1		1		4
合計	5	5	1	1	5	2	4	5	28

消防団の車両勢力

区分／所属	名称	車別	登録番号	形式	ポンプ級別	年式	車種
士別市消防団 中央第1分団	士別 1	消防ポンプ車	旭川800す 258	CD-Ⅱ	A－2	R 1.12	日野
	士別 3	消防ポンプ車	旭川800さ6150	CD-Ⅰ	A－2	H 20.11	日野
士別市消防団 中央第2分団	中士別 1	消防ポンプ車	旭川800さ8824	CD-Ⅰ	A－2	H 27.12	日野
	武徳1（大空）	積載車	旭川800さ7452	積載車	B－2	H 24. 2	三菱
士別市消防団 上士別分団	上士別 1	水槽付ポンプ車	旭川800さ9898	水Ⅰ型	A－2	H 30.12	日野
	成美 1	積載車	旭川800さ8081	積載車	B－2	H 25.11	三菱
士別市消防団 多寄分団	多寄 1	水槽付ポンプ車	旭川800さ8420	水Ⅰ型	A－2	H 26.11	日野
士別市消防団 温根別分団	温根別 1	水槽付ポンプ車	旭川800さ9474	水Ⅰ型	A－2	H 29.10	日野
士別市消防団 朝日分団	朝日タンク（水龍）	水槽付ポンプ車	旭川 88 や 101	水Ⅱ型	A－2	H 2.12	日産
和寒町消防団	和寒タンク1	水槽付ポンプ車	旭川830さ1705	水Ⅱ型	A－2	H 29. 5	日野
	和寒タンク2	水槽付ポンプ車	旭川800は1673	水Ⅱ型	A－2	H 26. 2	日野
	和寒ポンプ1	消防ポンプ車	旭川 88 そ 2994	CD-Ⅰ	A－2	H 7. 3	いすゞ
剣淵町消防団	剣淵タンク1	水槽付ポンプ車	旭川830せ119	水Ⅱ型	A－2	H 11.10	日野
	剣淵積載	積載車	旭川830さ1810	積載車	B－2	H 30.10	マツダ
幌加内町消防団 第1分団	幌加内ポンプ	消防ポンプ車	旭川830す 1411	CD-Ⅰ	A－2	H 26.11	日野
	幌加内積載	積載車	旭川830さ 1309	積載車	B－2	H 25. 9	トヨタ
	政和積載	積載車	旭川800す 753	積載車	B－2	R 3. 3	トヨタ
幌加内町消防団 第2分団	朱鞠内ポンプ	消防ポンプ車	旭川832の 119	CD-Ⅰ	A－2	H 22. 6	日野
	添牛内積載	積載車	旭川800す 1170	積載車	B－2	R 4. 3	トヨタ
	母子里積載	積載車	旭川 88 そ 5484	積載車	B－2	H 10. 9	トヨタ

車両配置

車種 / 所属	水槽付ポンプ車	消防ポンプ車	積載車	計
士別市消防団	4	3	2	9
和寒町消防団	2	1		3
剣淵町消防団	1		1	2
幌加内町消防団		2	4	6
合計	7	6	7	20

消防資器材保有状況その1

区分		消防本部	消防署	和寒支署	剣淵支署	幌加内支署	合計
防護・救助器具	救命浮輪		1	1		1	3
	救命胴衣		17		8	25	50
	救命ボート		2	1	1	2	6
	船外機		1			1	2
	ドライスーツ		16	6			22
	ＰＦＤ（浮力７Kg以上のﾗｲﾌｼﾞｬｹｯﾄ）		31	28	5		64
	スローバック		14	5	3		22
	耐熱服		2	2		2	6
	耐電衣		3	2		2	7
	耐電手袋		13	6	4	2	25
	耐電長靴		6	2	2	2	12
	耐電ズボン		3				3
	絶縁シート		4				4
	化学防護服　クラスB	22					22
	化学防護服　クラスC	60					60
	空気呼吸器		19	8	6	7	40
	空気充填用ボンベ		38	14	12	26	90
	マット型空気ジャッキ（一式）		2		1	4	7
	空気鋸			1		1	2
	可搬ウィンチ		8	1		2	11
	チェーンソー		8	2	2	3	15
	酸素溶断機			1		2	3
	エンジンカッター		10	2	2	3	17
	緩降機		1	1			2
	空気式救助マット		1	1			2
	レスキューツール						
	往復式鋸（レシプロソー）		1			1	2
	ロープ１００ｍ		4		1		5
	ロープ５０ｍ		5	8	1	1	15
	ロープ３０ｍ		9	4	1	3	17
	救命索発射銃		1				1
	救助用バスケット		3	1	1	2	7
	平担架		1			1	2
	救助用ハーネス		10	7		2	19
	携帯用コンクリート破壊器具		1	1	1	1	4
	油圧救助器具(カッター)		6			2	8
	電動油圧救助器具(カッター)		2	1	1	2	6
	電動油圧救助器具(コンビツール)		2			1	3
	電動油圧救助器具(スプレッター)		1	1	1	1	4
	電動油圧救助器具(ラムシリンダー)			1	1		2
	大型油圧救助器具（カッター）		1	1	1	1	4
	大型油圧救助器具（スプレッダー）		1	1	1	1	4
	大型油圧救助器具（ラムシリンダー）		1	1		2	4
	大型油圧救助器具（ラムサポート）		1	2	1		4
	大型油圧救助器具（コンビツール）					1	1
	救助用足場		1				1
	レスキューフレーム		1				1
	ペダルカッター		1	1	1	1	4
	ハンドポンプ		1	1		1	3

消防資器材保有状況その2

区分		消防本部	消防署	和寒支署	剣淵支署	幌加内支署	合計
消火器具・照明器具	消防ホース　町野式50mm		323	105	76	44	548
	〃　町野式65mm		515	153	101	232	1001
	背負式消火器具		26	15	7	14	62
	組立水槽（2,500ℓ）		2	1	1		4
	組立水槽（1,000ℓ）		2			1	3
	小型動力ポンプ		15		2	8	25
	苅払機		2		1	2	5
	発泡機			1			1
	泡ノズル		7	6	1	4	18
	圧縮空気泡消火銃		2				2
	発電機（移動）投光器		18	8	13	7	46
	分岐管		17	5	2	2	26
	かぎ付き梯子		2			1	3
	2連はしご		19	4	3	8	34
	3連はしご		4	2	2	1	9
	水損防止シート		23	5	1		29
	熱画像直視装置		2	1	2		5
	排煙機		3	1		1	5
	LED投光器（商用電源・充電対応）	2					2
	LED投光器（商用電源高照度型）	2					2
薬剤・油処理剤	泡原液(合成界面活性剤)（ℓ）		700	420	234		1354
	油吸着マット(枚)		444	127	86	440	1097
	油処理剤(ℓ)		159	39		356	554
	油処理剤(オイルゲータ)（ℓ）		32		40		72
	油吸着剤（ＡＣライト）(kg)			19		110	129
	油吸着剤（セルソーブ）（ℓ）		32				32
	油処理剤(アースクリーン)(ℓ)		145	18	42		205
	油処理剤(オイルスポンジ)(kg)						
	化学消火薬剤(ﾌｫﾚｯｸｽﾊﾟﾝ)(ℓ)		20	60			80
その他	エアーコンプレッサー		4	1	1	4	10
	プローブ（ゾンデ棒）		31	12	10	10	63
	スノーボート				1		1
	メッシュ担架		1				1
	訓練用ダミー（救急用）		14	1	1	1	17
	訓練用ダミー（救助用）		2		1	1	4
	可燃性ガス測定器		3		1	1	5
	ガス検知器		1	1			2
	検電チェッカー			1			1
	簡易テント一式	2					2
	エアーテント一式	2					2
国から貸与	個人用線量計	8					8
	ガンマ線及びX線用線量率計	2					2
	全面マスク	8					8
	表面汚染検査計	1					1

地区別水利施設状況

区分 / 地区		上水道消火栓		防火水槽	
		基準	基準外	40㎥	20㎥
士別市	市街	264		18	
	中士別	19		4	
	武徳	8		1	1
	上士別	29		8	
	多寄	42		2	
	温根別	22		6	1
	朝日	1		30	
	士別合計	385		69	2
和寒町	市街地		27	41	
	市街外			3	
	和寒合計		27	44	
剣淵町	市街地		25	21	
	市街外		3	3	
	剣淵合計		28	24	
幌加内町	市街地	23	16	21	
	市街外		10	16	2
	幌加内合計	23	26	37	2
組合	合計	408	81	174	4

※ 基準に適合するには、消火栓が呼称65の口経を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。ただし、管網の一辺が180m以下となるように配管されている場合は、75mm以上とすることができる。

※ 士別地区－耐震性防火水槽9基、剣淵地区－耐震性防火水槽3基、幌加内地区－耐震性防火水槽5基

高機能消防指令センター装置概要

装置名称	数	摘要
１１９番受付装置	6	正副全席正座COMボード仕様
自動出動指定装置	3	ＡＴ互換 Microsoft Windows10　(兼用モード搭載)
地図等検索装置	3	ＡＴ互換 Microsoft Windows10　(兼用モード搭載)
支援情報表示装置	3	ＡＴ互換 Microsoft Windows10　(兼用モード搭載)
多目的表示盤	3	地図検索・気象情報・監視カメラ・車両表示・災害画像伝送装置切替式　55インチLEDディスプレイ
指令制御装置	1	
非常用指令装置	1	指令制御装置に含む
気象情報収集装置	1	温度・湿度・雨量観測
消防待機室動態等確認表示盤	2	24インチLEDディスプレイ
屋外出動表示盤及び拡声装置	1	赤色LED警告灯及び黒字カッティング抜き文字赤色LED内照・拡声スピーカー設置　消防署のみ
庁舎監視カメラ	5	制御装置を含む　車庫内4ch、鉄塔1ch
音声合成装置	1	蓄積、規則両用方式
順次指令装置	1	音声合成装置連動　光回線　1番号4回線
災害状況等自動案内装置	1	光回線　1番号10回線
災害状況等自動案内連動	1	ホームページ及び携帯電話向け　指令制御装置に含む
長時間録音装置	1	デジタル録音方式
署所端末装置	4	消防署、朝日支所、剣淵支署、和寒支署（非常電源を含む）
ＡＶＭ確認用端末装置	1	
データ修正装置	1	ＡＴ互換 Microsoft Windows10
指令情報出力装置	1	ディスプレイ型×３（和寒支署・剣淵支署・朝日支所）　プリンタ型（消防署）
サイレン制御装置	9	士別・中士別・上士別・成美・武徳・多寄・温根別・和寒・剣淵　(拠点毎吹鳴)
ＦＡＸ１１９受信装置	1	指令制御装置から内線転送
消防ＯＡシステム	1式	消防署、朝日支所、剣淵支署、和寒支署、幌加内支署
災害画像伝送装置	1	５拠点端末

１１９番等　受付回線概要

回線名称	数	摘要
一般回線１１９番	8	光回線　8回線
携帯電話１１９番	4	光回線　4回線
ＩＰ１１９番	4	光回線
専用線	1	東日本高速道路㈱管制センター直通
連絡専用線	1	携帯転送用
転送専用線	1	携帯転送受信用
駆け込み通報用専用線	4	朝日・和寒・剣淵　署所端末装置回線重畳
救急ホットライン専用線	1	救急隊連絡・道路情報、気象情報受信用FAX兼用

AVMシステム設置車両概要

単位:台

種別＼地区別	士別	朝日	上士別	温根別	多寄	中士別	和寒	剣淵	事務組合 計
Ⅱ型（動態のみ）	3						4		**7**
Ⅲ型（地図表示＋動態）	7	3					1	5	**16**

救急・救助統計

専用電話等受付状況（市町別）

災害種別＼市町別		士別市	剣淵町	和寒町	幌加内	計
火災	建物	2	1		2	5
	林野					
	車両	3				3
	その他	1	1	1		3
	高速道路上車両					
	計	6	2	1	2	11
救急（高規格を含む）	急病	625	91	148	51	915
	一般負傷	112	17	26	16	171
	交通事故	25	5	7	2	39
	運動競技	5	1	1	1	8
	労働災害	6		6	2	14
	水難	1				1
	加害	2				2
	自損行為	5	1	1		7
	火災					
	自然災害					
	転院搬送	222		17	16	255
	その他	14	1	4	1	20
	計	1,017	116	210	89	1,432
救助	火災					
	交通事故	4	1	2		7
	水難事故					
	自然災害					
	機械事故					
	ガス・酸欠					
	爆発事故					
	建物					
	その他	7		1	1	9
	計	11	1	3	1	16
警戒	偵察	11	7		2	20
	危険排除	5	2	2		9
	その他					
	計	16	9	2	2	29
その他	風水害					
	土砂災害					
	その他	4		1		5
	ドクターヘリ支援	3		9		12
	計	7		10		17
キャンセル	まちがい	53	5	9	83	150
	いたずら	1				1
	試験	140	42	11	1,108	1,301
	その他	142	28	16		186
	計	336	75	36	1,191	1,638
市町別合計		1,393	203	262	1,285	3,143

※同一事案の複数通報も計上のため、発生件数とは異なる場合がある

覚知別受付状況

災害種別＼覚知別		119固定	駆け込み	局線	専用線（警察・公団・財団）	うち緊急通報	無線	その他	一般加入	携帯転送	携帯119	IP119	計
火災	建物	1							3			1	5
	林野												
	車両										2	1	3
	その他								1		2		3
	高速道路上車両												
	計	1							4		4	2	11
救急	急病	347	6		7	4	1	1	98	1	282	172	915
	一般負傷	66	2		1				19		54	29	171
	交通事故	10	1				1	2	4		21		39
	運動競技	2							1		5		8
	労働災害	2							3		8	1	14
	水難							1					1
	加害				1				1				2
	自損行為								2		4	1	7
	火災												
	自然災害												
	転院搬送	2							252			1	255
	その他	4	1				1		11		2	1	20
	計	433	10		9	4	3	4	391	1	376	205	1,432
救助	火災												
	交通事故	3							1		2	1	7
	水難事故												
	自然災害												
	機械事故												
	ガス・酸欠												
	爆発事故												
	建物												
	その他	1	1					1	3		2	1	9
	高速道												
	計	4	1					1	4		4	2	16
警戒	偵察	13			3	3			2		2		20
	危険排除		1						7		1		9
	その他												
	計	13	1		3	3			9		3		29
その他	風水害												
	土砂災害												
	その他								5				5
	ドクターヘリ支援						10	1	1				12
	計						10	1	6				17
キャンセル	まちがい	33									30	87	150
	いたずら										1		1
	試験	1,231						9		12	16	33	1,301
	その他	97						2	2		67	18	186
	計	1,361						11	2	12	114	138	1,638
覚知別合計		1,812	12		12	7	13	17	416	13	501	347	3,143

救急活動総括表

区　分	出動件数	搬送件数	搬送人員	走行距離数 Km	所要時間 分	不搬送件数
総　　計	1,445	1,370	1,381	49,688	105,824	75
月　平均	120.42	114.17	115.08	4,140.67	8,818.67	6.25
一日平均	3.96	3.75	3.78	136.13	289.93	0.21

救急隊別事故種別活動状況

救急隊別	事故種別 / 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師搬送	その他 資機材搬送	その他 その他	不搬送
士別救急隊	出動件数	1,037			1	33	8	5	126	2	5	619	222			16	50
	搬送件数	987				32	8	5	126	2	2	579	221			12	
	搬送人員	994				38	8	5	127	2	2	579	221			12	
士別救急隊（剣淵）	出動件数	117				6		1	17		1	92					3
	搬送件数	114				6		1	17		1	89					
	搬送人員	116				8		1	17		1	89					
和寒救急隊	出動件数	202				9	6	3	25		1	142	16				16
	搬送件数	186				6	6	3	22		1	132	16				
	搬送人員	186				6	6	3	22		1	132	16				
幌加内救急隊	出動件数	89				2	2	1	16			51	16	1			6
	搬送件数	83				1	2	1	14			49	16				
	搬送人員	85				1	2	1	16			49	16				
合計	出動件数	1,445			1	50	16	10	184	2	7	904	254	1		16	75
	搬送件数	1,370				45	16	10	179	2	4	849	253			12	
	搬送人員	1,381				53	16	10	182	2	4	849	253			12	

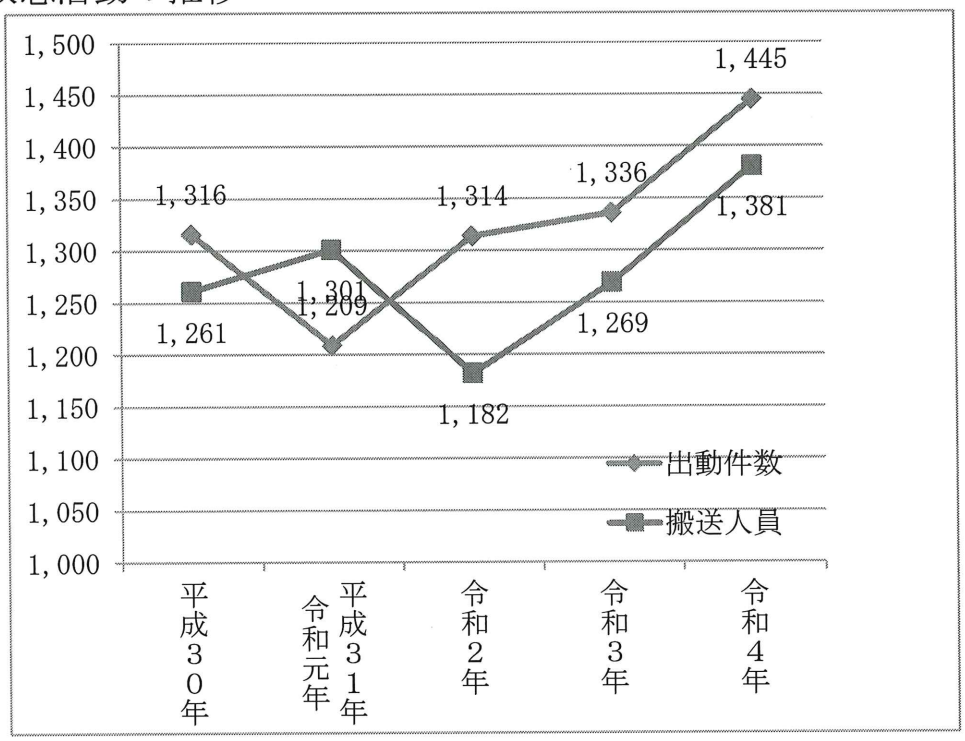
曜日月別出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	合計
曜日別	月				5	1		19		1	135	37			1	199
	火				6	3	1	29			142	37			4	222
	水			1	4	4		26		2	121	36			3	197
	木				14	3		27		1	136	34			3	218
	金				6	2		31	2	2	116	42	1		2	204
	土				10	2	3	23			121	35			1	195
	日				5	1	6	29		1	133	33			2	210
計				1	50	16	10	184	2	7	904	254	1		16	1,445
月別	1月				3			21			86	14				124
	2月						1	17			50	19				87
	3月				8	2		13		2	80	21				126
	4月				4	2		12		1	84	22				125
	5月				6	1		11		1	81	20	1			121
	6月				2	2	1	15		1	80	18				119
	7月				6	5	2	12		1	73	15			1	115
	8月				5		3	13	1	1	77	26			1	127
	9月			1	3	1	2	19			87	31			5	149
	10月				2			7			72	17			4	102
	11月				4	1	1	15			69	24			3	117
	12月				7	2		29	1		65	27			2	133
計				1	50	16	10	184	2	7	904	254	1		16	1,445

曜日月別搬送人員

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
曜日別	月				7	1		19		1	128	37	1	194
	火				5	3	1	29			138	36	2	214
	水				6	4		25		1	112	36	3	187
	木				13	3		27			125	34	1	203
	金				5	2		27	2	1	106	42	2	187
	土				12	2	3	26			117	35	1	196
	日				5	1	6	29		1	123	33	2	200
計					53	16	10	182	2	4	849	253	12	1,381
月別	1月				2			19			81	14		116
	2月						1	17			46	19		83
	3月				9	2		12		2	77	21		123
	4月				4	2		12		1	77	22		118
	5月				7	1		11			76	20		115
	6月				3	2	1	15			71	18		110
	7月				6	5	2	12			69	15		109
	8月				5		3	12	1	1	77	26	1	126
	9月				2	1	2	20			79	31	3	138
	10月				2			7			68	17	3	97
	11月				5	1	1	16			65	24	3	115
	12月				8	2		29	1		63	26	2	131
計					53	16	10	182	2	4	849	253	12	1,381

救急活動の推移



地区別発生状況

地区＼年		平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
士別市	市　街	815	798	815	856	836
	多　寄	53	47	44	34	49
	上士別	46	26	33	30	38
	温根別	12	17	15	7	15
	朝　日	75	66	73	61	88
	計	1,001	954	980	988	1,026
和寒町 （士別隊活動）				7	8	11
幌加内町 （士別隊活動）				1		
和寒町		188	164	161	171	202
剣淵町		127	91	90	90	117
幌加内町				74	79	88
その他管外		—	—	1	—	1
合　計		**1,316**	**1,209**	**1,314**	**1,336**	**1,445**

地区別救助出動件数

事故種別 / 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
士別			6	2	1	1				6	16
和寒										1	1
剣淵			1								1
幌加内										1	1
合計			7	2	1	1				8	19

月別救助出動件数

事故種別 / 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
1月			1								1
2月										1	1
3月			2							3	5
4月										1	1
5月										1	1
6月										1	1
7月			1							1	2
8月			1								1
9月				2		1					3
10月											
11月											
12月			2		1						3
合計			7	2	1	1				8	19

活動人員状況

事故種別 / 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
出動人員			53	29	5	8				40	135
出動台数			15	10	2	2				15	44
救助人員			3		1	2				5	11

火災統計

火災概況

区分＼市町別			士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計
火災件数	建物火災		4		2	2	8
	林野火災						
	車両火災		4				4
	その他の火災		1		1		2
	合計		9		3	2	14
焼損面積（㎡）	建物火災	全焼	115.00		210.00	25.00	350.00
		半焼					
		部分焼			1.00	21.00	22.00
		ぼや	1.00				1.00
		計	116.00		211.00	46.00	373.00
	林野火災						
	その他の火災		9,701.00		508.38		10,209.38
	合計		9,817.00		719.38	46.00	10,582.38
損害額（千円）	建物損害		7,107		57	1,743	8,907
	林野損害						
	車両損害		3,911				3,911
	その他の損害						
	合計		11,018		57	1,743	12,818
焼損棟数（建物）（延焼棟数を含む）	全焼		1		1	1	3
	半焼						
	部分焼				1	1	2
	ぼや		3				3
	合計		4		2	2	8
り災世帯・人員	世帯数		1				1
	人員		2				2
死傷者数	焼死者数						
	負傷者数						

月別火災発生状況

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物火災	全 焼			1						1	1			3
	半 焼													
	部分焼					2								2
	ぼ や							1	1	1				3
小 計				1		2		1	1	2	1			8
車両火災					1			1		2				4
林野火災														
その他の火災					1	1								2
合 計				1	2	3		2	1	4	1			14

月別火災損害状況

月＼区分	火災件数	建物損害		車両損害	林野損害	その他の損害	損害額合計
		焼損面積（㎡）	損害額（千円）	（千円）	（千円）	（千円）	（千円）
1月							
2月							
3月	1	115.00	6,356				6,356
4月	2			50			50
5月	3	22.00	1,333				1,333
6月							
7月	2		701	3,630			4,331
8月	1		2				2
9月	4	26.00	515	231			746
10月	1	210.00					
11月							
12月							
合計	14	373.00	8,907	3,911			12,818

原因別火災状況

区分／原因	火災件数	焼損棟数	焼損面積(㎡)(表,床)	損害額(千円)					り災者数	り災世帯数	死者	負傷者
				建物損害	林野損害	車両損害	その他の損害	合計				
たばこ	1											
かまど	1	1	25.00	467				467				
炉・焼却炉												
暖房機器	2	2	136.00	7,632				7,632				
電灯電話等の配線	2	2	1.00	50				50	2	1		
煙道火災	1											
電気機器	2					3,680		3,680				
たき火												
灯火												
マッチ・ライター												
火入れ												
放火												
放火の疑い												
火遊び												
溶接機切断機												
その他	3	2	1.00	758		231		989				
不明・調査中	2	1	210.00									
合　計	14	8	373.00	8,907		3,911		12,818	2	1		

※焼損面積には、林野火災・その他火災を含まない(建物火災のみ)

※火災件数はすべての火災件数を計上

予防統計

危険物製造所設置状況

令和5年3月31日現在

製造所 / 地区	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	計
士別市	6	13	1	59	47	2	5	22	26	181
和寒町	0	2	0	14	4	0	0	5	1	26
剣淵町	1	1	0	12	4	2	0	4	9	33
幌加内町	0	0	0	15	5	0	1	6	3	30
合計	7	16	1	100	60	4	6	37	39	270

倍数設置状況

製造所 / 倍数	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	計
5倍以下のもの	4	7	0	61	52	0	5	1	19	149
5倍を超え10倍以下	1	5	1	21	6	2	1	3	15	55
10倍を超え50倍以下	2	3	0	12	2	2	0	11	3	35
50倍を超え100倍以下	0	0	0	4	0	0	0	6	2	12
100倍を超え150倍以下	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
150倍を超え200倍以下	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
200倍を超え1，000倍以下	0	1	0	2	0	0	0	4	0	7
1，000倍を超え5，000倍以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5，000倍を超えるもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	7	16	1	100	60	4	6	37	39	270

建築同意及び通知防火対象物数

令和5年3月31日現在

用途別（令別表第1）＼市町別			建築基準法93条関係														
			新築					増改築					その他				
			士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計
1	イ	劇場															
	ロ	公会堂等															
2	イ	キャバレー等															
	ロ	遊技場等															
	ハ	風俗営業等															
	ニ	カラオケボックス															
3	イ	料理店等															
	ロ	飲食店															
4		百貨店・店舗	2				2										
5	イ	ホテル等	1				1										
	ロ	共同住宅等			1	1	2										
6	イ	病院等	1														
	ロ	老人ホーム等															
	ハ	老人福祉センター															
	ニ	幼稚園等															
7		学校等															
8		図書館等															
9	イ	サウナ浴場等															
	ロ	公衆浴場等															
10		停車場等															
11		神社等											1				1
12	イ	工場等	1				1	1				1					
	ロ	映画スタジオ等															
13	イ	駐車場等															
	ロ	格納庫等															
14		倉庫等	2			1	3										
15		事務所等				1	1										
16	イ	特定複合建物															
	ロ	その他の複合建物	3				3										
17		重要文化財															
合計			10		1	3	13	1				1	1				1

指定防火対象物数

令和5年3月31日現在

用途別（令別表第1）			法8条関係													
			令別表第1に定める対象物数					防火管理者を定めなければならない対象物数					防火管理者選任届出数				
		市町別	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	計
1	イ	劇場	2	1			3	2	1			3	2	1			3
	ロ	公会堂等	10	1		7	18	10	1		7	18	10	1		7	18
2	イ	キャバレー等															
	ロ	遊技場等	3				3	3				3	3				3
	ハ	風俗営業等															
	ニ	カラオケボックス															
3	イ	料理店等															
	ロ	飲食店	21	6	5	5	37	14	3	3	2	22	14	3	3	2	22
4		百貨店・店舗	38	9	4		51	25	1			26	20	1			21
5	イ	ホテル等	13	2	4	4	23	10	1	2	1	14	10	1	2	1	14
	ロ	共同住宅等	251	42	35	22	350	10		1	1	12	10		1	1	12
6	イ	病院等	8	1	2	3	14	2	1		1	4	2	1		1	4
	ロ	老人ホーム等	16	3	7	2	28	15	2	5	1	23	15	2	5	1	23
	ハ	老人福祉センター	23	5	15	4	47	12	4	1	2	19	11	4	1	2	18
	ニ	幼稚園等	3				3	3				3	3				3
7		学校等	14	7	3	7	31	8	3	3	3	17	8	3	3	3	17
8		図書館等	3	4	3	1	11	3	3	2		8	3	3	2		8
9	イ	サウナ浴場等															
	ロ	公衆浴場等	1			1	2	1			1	2	1			1	2
10		停車場等	2				2										
11		神社等	42	14	9	4	69	27	4	6	3	40	24	4	6	3	37
12	イ	工場等	139	30	21	20	210	3				3	3				3
	ロ	映画スタジオ等															
13	イ	駐車場等	55	5	16	9	85										
	ロ	格納庫等															
14		倉庫等	252	38	35	13	338										
15		事務所等	269	53	37	28	387	40	11	1	2	54	38	11	1	2	52
16	イ	特定複合建物	92	24	25	5	146	29	7	10	5	51	22	7	10	5	44
	ロ	その他の複合建物	104	19	12	3	138	2	2	4		8	2	2	4		8
17		重要文化財	1				1										
合計			1,362	264	233	138	1,997	219	44	38	29	330	201	44	38	29	312

諸届出及び証明等処理件数

届出内容＼市町別		士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	合　計
法令によるもの	危険物施設設置許可書交付	2			1	3
	危険物施設変更許可交付	6	1			7
	危険物施設完成検査済証交付	8	1		1	10
	危険物施設完成検査済証再交付	1				1
	危険物施設予防規程認可書交付	2				2
	危険物施設仮使用承認書交付	1				1
	危険物施設仮貯蔵（取扱）承認申請	2				2
	危険物施設種類・数量変更届	3		1		4
	危険物施設譲渡・引渡届					
	危険物施設保安監督者選任・解任届	9				9
	危険物施設廃止届	7			1	8
	危険物許可取消書					
	消防用設備等検査済証	30	5	2	3	40
条例によるもの	防火対象物使用開始届	42	5	5	4	56
	ボイラー等設置・変更届出	10	1	1		12
	少量危険物設置届出	34	5	7	2	48
	発電・変電・蓄電池設備設置変更届	7	4	1	3	15
	催物（露天）開催届	37	11	39	3	90
	花火打ち上げ・仕掛け届	8	6	7	6	27
	道路工事届	28	3	2	7	40
	火災と紛らわしい行為の届出（電話等による受付を含む）	97	2	10	2	111
その他	り災証明書	7		1	1	9
	検査証明					
	その他の証明					

防火団体状況

【防火委員会】

士別地方幼少年婦人防火委員会	昭和54年11月21日

【幼年消防クラブ】

士別幼年消防クラブ	昭和58年6月8日	60名
多寄幼年消防クラブ	昭和59年6月27日	12名
瑞祥幼年消防クラブ	昭和60年10月18日	14名
カトリック士別幼年消防クラブ	昭和61年10月17日	51名
南町幼年消防クラブ	平成12年4月13日	6名
あさひ幼年消防クラブ	平成4年5月11日	15名
あいの実幼年消防クラブ	平成26年4月1日	97名
北星幼年消防クラブ	平成26年3月24日	87名
和寒幼年消防クラブ	平成2年12月25日	63名
こぶたの家幼年消防クラブ	平成28年7月22日	30名
剣淵町保育所幼年消防クラブ	平成3年12月3日	70名
合計 (12団体)		505名

【少年消防クラブ】

多寄少年消防クラブ	昭和53年4月1日	9名
合計 (1団体)		9名

【危険物安全協会】

士別地方危険物安全協会	昭和53年8月4日	62事業所

【防火管理協会】

士別市防火管理協会	昭和53年4月18日	107事業所
幌加内町防火管理協会	昭和48年5月18日	53事業所

【日本防火協会より寄贈品】

士別幼年消防クラブ	昭和59年4月	鼓笛隊セット
和寒幼年消防クラブ	平成5年12月	鼓笛隊セット
カトリック士別幼年消防クラブ	平成5年12月	ビデオセット